鶴の架け橋交流

交流のシンボルとして 町花アジサイを贈呈

目録の贈呈が行われました

青森県鶴田町とは、平成九年八月六日の姉妹都市盟約締結以来「鶴の架け橋交流」として、人的交流をはじめ経済・教育・文化交流を様々な形で積極的に実施してきました。

こうした中、去る五月九日から十一日の日程で、町長、区長会の一行が青森県鶴田町を訪問し、町花アジサイの株（二百八十株）を贈り、記念植樹が行われました。

これは、昨年一月の「鶴の架け橋交流鶴凧上げ大会」に青森県鶴田町の中野町長が来町され、大口曽木の滝中「アジサイロード」についての案内の途中、植栽の経緯や職員のボランティアによる管理状況などを紹介したところ、大きな感銘を受けられました。

そして帰町後の会議で報告されると同時に、建設が進められている道の駅周辺にアジサイを植栽し、交流のシンボルとしたい旨表明されたことを聞き、今後の更なる交流の促進を図ることを目的に、町民の皆さんにアジサイの株の提供を呼びかけ集められたものです。

五月十日（金）、道の駅「あるじゃ」で開催された贈呈式には、多くの町民の皆さんが参加し、中野町長から、「交流のシンボルとして大事に育て、そして町をアジサイの花でいっぱいにしたい」とお礼のあいさつがありました。また、本町の各小中学校の児童生徒やアジサイの株の提供者の皆さんからいただきました各区長から各学校の代表に手渡され、この式典に花を添えていただき、大変喜ばれました。

アジサイの株の提供やメッセージを書いていただきました方々にお礼を申し上げます。

町花アジサイは、本町の町制二十周年記念事業の中で決められたもので、小さな花が集まって大輪の花になるアジサイは、個性豊かな町民が協力・団結して町を創造することを示しています。

今後、北と南の鶴田町がアジサイの花でいっぱいになり、町民はもとより観光客の目を楽しませ、町の活性化につながることを期待しているところです。

アジサイの植栽をする子どもたち

川内川水防演習

災害想定し実施

土のう積を行う本町水防団

川内川水防演習（下流地区）が、鶴田町主催で五月十九日（日）川内市中郷町で実施されました。

この演習は、五月が水防月間に定められていることから、水防の重要性と水防思想の普及を図ることによって、水害から国民の生命と財産を守るため、川内川に関係する十五団体が参加し、実施されました。

演習では、梅雨前線が鹿児島県北部に停滞し、一時間に一〇〇ミリ、総雨量が五〇〇ミリに達し、堤防が決壊する恐れがあると想定し、訓練が行われました。

それぞれの状況に応じて、各水防団がそれぞれの工法で実践さながらの演習を行いました。

また、会場周辺には水防工法のパネル展示、河川情報機器、災害時の作業車などの展示も行われました。

関東鶴田会開催

ふるさとを語り合う

関東鶴田会総会の様子

第十一回関東鶴田会総会が、五月十二日（日）東京都内で行われ、会員約六十人のほか、本町から関係者が参加しました。

総会では、会務報告、決算・予算、事業計画について熱心に審議がなされました。また市町村合併の問題等も含めて、ふるさとの現況報告も行われ、変わり行く町の姿に驚いていました。

懇親会では、久しぶりに再会する友人や知人とふるさとの話で遅くまでにぎわいました。